

○按ズルニ、美也都古岐、一名多都乃岐ハ、接骨木ノ和名ナリ、宜シク接骨木條ヲ參看スベシ、
〔倭名類聚抄二十〕女貞 拾遺本草云、女貞一名冬青和名太豆乃木、楊氏漢語抄云、比女都波木、冬月青翠、故以名之、

〔箋注倭名類聚抄十〕證類本草上品引陳藏器載女貞、又於女貞條中載冬青、蓋以女貞冬青相類並
舉也、源君以爲一名誤也、略○中 本草和名云、女貞、和名美也都古岐、一名多都乃岐、又云、接骨木、和名

美也都古岐、蓋輔仁不能詳、併二木同訓也、源君斷訓接骨木爲美夜都古岐、故單訓女貞爲太豆乃
岐、然今俗呼接骨木爲木多豆、呼蒟藳爲草多豆、則太豆乃岐、卽美夜都古岐之別名、源君以美也都

古岐、太豆乃岐、分爲二木者誤、略○中 證類本草引、故以名之、作故名冬青、郭注東山經、楨木云、女貞也、
葉冬不凋、

〔伊呂波字類抄太〕植物附植物體、女楨タツノキ、ヒメツバキ、女貞、タツノキ、ニハウコギ、
〔璫囊抄六〕ツラ〜椿ツバキトハ何ゾ 萬葉ニハ列居椿レツキョチト書タレバ、生並タル椿ヲ云ニヤ、又本草女貞

ト書テ、和名爾爾タツノ木又ハツラツバキトバキトヨメリ、若是ヲ指テ熱ツラノ義ニソエテ重子詞ニハ申セ
ルニヤ、歌ニハ讀侍リ、

川浪ツラソ列居椿ツバキツラ〜ニ見レトモアカズコセノ春ノハ
コセノ山ツラ〜椿ツラ〜ニヲモフナワカセコセノ春ノヲ

此女貞チヨテイヲ押返テ熱ツラノ詞ニソフル歟、椿ハ赤キ花ナレバ、並木ノ花開タランハアカラ目モセズ、情
見ツベキニヤ、何レ共定メ難ク侍リ、

〔東雅十六〕女貞樹竹タツノキ略○中 タツノキ、ヒメツバキ等の名をもて呼ぶ物ありもやすらむ、いま
だ聞かず、或人の説に、卽今モチノキといふもの、冬青木也、與女貞同名、又名凍青といひ、亦一説に

女貞子ズミモチは子ズミモチといふ是也といふなり、救荒本草に、凍青樹高丈許、樹如狗骨樹、而極茂盛、葉微
窄而頭頗圓不尖、五月開細白花、結子如豆、大紅色などいふ如きは、卽今此にしてモチノキといふ